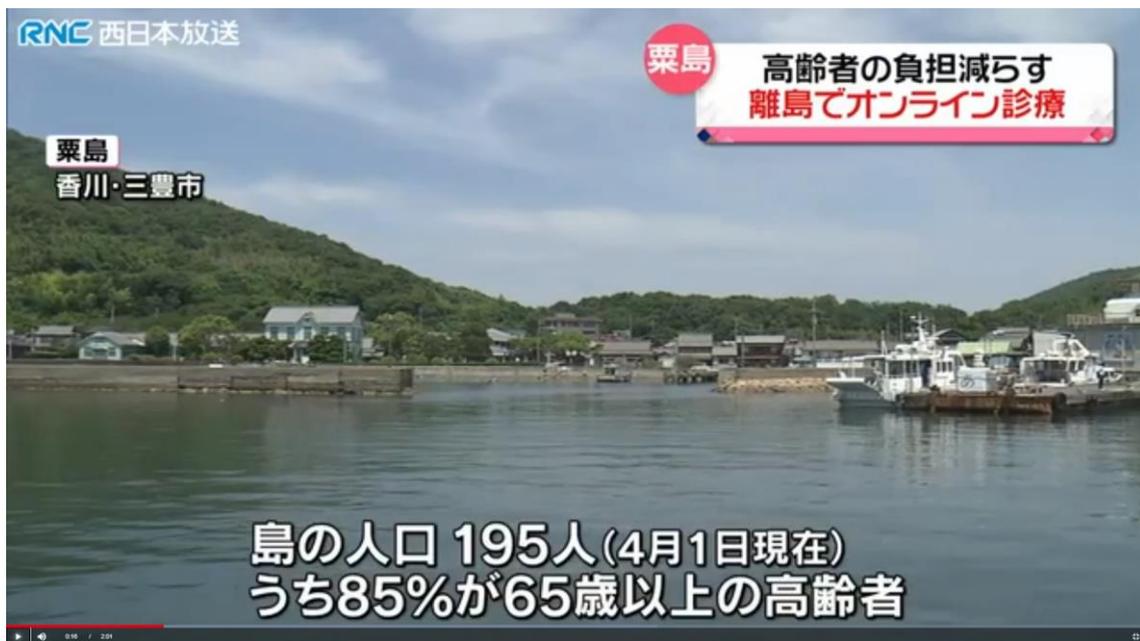


2020/07/07 RNC news every.









栗島

高齢者の負担減らす
離島でオンライン診療

オンライン診療

- 定期的な薬の処方を島内で
- 救急搬送時も医師が病院を手配

栗島

高齢者の負担減らす
離島でオンライン診療

島民は

無理に船に乗らなくても
ちゃんと診察してくれる





離島の医療体制維持を オンライン診療

新型コロナウイルスの影響で離島の医療体制の維持が課題となる中、島の高齢者の負担を減らそうと、香川県三豊市の粟島でオンライン診療が行われることになりました。

人口およそ200人の三豊市沖にある粟島。高齢者の割合は島民の85パーセントを占めます。島にある唯一の診療所には2人の看護師が常勤していますが、医師が滞在しているのはほぼ週に2日、数時間のみという状況です。

一時、新型コロナウイルスの影響で医療体制が整っていない県内の島への渡航自粛が求められたことなどを受け、三豊市は先月末、粟島の診療所と担当医を繋ぐオンライン診療の導入を正式に決めました。

試験的な運用は既に始まっていて、患者が島外の病院に行かなくても慢性疾患の薬の処方などが受けられるようになったほか、救急搬送が必要な場合にも受け入れ先の病院をあらかじめ医師が手配することも可能です。週末や夜間の対応などの課題もありますが、感染の第2波・第3波にも対応できるICTを活用した医療体制の強化に期待が寄せられています。